

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		施設のPRや情報提供、開放事業など地域へ向けた新たなるアプローチが必要である。	施設があることは、周知できているが、どういった施設なのかが把握されていないため、どういった施設かを認識してもらおう。	施設周辺へ、施設を把握してもらうためのチラシを配布したりして認識してもらおうと共に、介護のことで気軽に立ち寄って聞いてもらえるように発信していく。	12 ヶ月
2		消防署立ち会いのもとに訓練を実施し、避難経路や安全確保などについて指導や助言を頂いたりして訓練が出来ると良い。また、運営推進会議等で地域と役割を決めての訓練や施設の機能など具体的に話し合う機会を設け相互に協力体制を整える必要がある。	消防訓練は行っているが、消防署立ち会いでは行っていないため、一度立ち会いのもとで訓練を実施し、当施設の避難経路などの確認をしよう。また、災害時の地域との協力体制について、決まったものがないので、少しずつでも話し合い決めていけるようにする。	・消防訓練時に消防署へ立ち会いの依頼をする。 ・運営推進会議等を活用して、地域の防災の組織の確認をしつつ、施設で出来る事と出来ないことをはっきりさせて地域での役割を話し合う。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。